

# 包括システムによる日本ロールシャッハ学会第18回大会のお知らせ

(第1号通信)

2011年11月吉日

国際学会も無事終了し、数々の実りのある成果を携え、日々、臨床実践活動や研究活動に打ち込んでいらっしゃるものと推察いたします。

さて、本学会の第18回年次大会を金沢工業大学で開催させていただくことになりました。本学は工科系の大学ではありますが、平成16年度より大学院心理科学研究科臨床心理学専攻を設置し、以来、資格認定協会の第一種指定校として臨床家の養成を行ってきております。歴史の浅い大学院ですので、身の丈に合った大会プログラムを作成させていただきましたが、近隣の臨床家の先生方も含め実行委員全員で学術大会に相応しい内容にすべく努力させていただいている最中です。この機会に、金沢の地に多数お越しいただき、昼夜を問わず白熱した議論を重ね、相互研鑽の機会としていただきますよう、お願い申し上げます。

包括システムによる日本ロールシャッハ学会第18回大会  
会長 塩谷 亨

- 1 大会会期 2012年6月23日(土)・24日(日)
- 2 会 場 金沢工業大学扇が丘キャンパス 7号館  
石川県野々市市扇が丘7-1

### 3 大会日程と主な行事

#### 6月23日(土)

- 9:30-10:00 受付  
10:00-16:30 ワークショップ  
18:00-19:30 懇親会

#### 6月24日(日)

- 9:00-9:30 受付  
9:30-11:30 研究発表  
11:30-12:30 総会  
13:30-16:00 シンポジウム

「発達障害のアセスメントにおけるロールシャッハ・テストの可能性」  
話題提供：大場いずみ(医療法人社団至空会メンタルクリニックダダ)  
明翫 光宜(東海学園大学)  
村松 朋子(同志社大学カウンセリングセンター)  
指定討論：西村優紀美(富山大学保健管理センター)  
司 会：平口真理(金城大学)

\* 話題提供者、指定討論者については、現在確定している方のみを記載しています。

#### 4 ワークショップについて

ワークショップは大会第1日目6月23日(土)10:00-16:30に開催します。

今大会のワークショップは以下の3コースです。先着順に受け付けますので、同封の払込取扱票(振込用紙)に希望のワークショップを記入し、お申し込みください。

##### Aコース 「ロールシャッハ・テストの繊細な解釈とフィードバックセッション」

講師：中村紀子(中村心理療法研究室)

内容：自死をいかに防ぐかは私たち援助職にとって最も切実な課題です。S-Con(自殺の可能性を示す布置)が該当していると、まずその問題に焦点を当てて対応できるので援助の可能性が高まります。このワークショップでは、ロールシャッハのS-Conが該当していなかったケースを取りあげて、自死に至らしめた羞恥心について焦点を当てて考え、学びたいと思います。親子のケースを検討します。フィードバックセッションがどのようであればよかったのかも含め、通り一遍の解釈ではなく繊細なアプローチを組み立てられる積極的な参加を期待しています。

##### Bコース 「ロールシャッハ再考」

講師：黒田浩司(山梨英和大学)

内容：日々ロールシャッハ・テストを使用している初学者、中級者がこの手法を再考し、テスト理解やフィードバックなどの臨床実践の熟練度をあげるために役立つ知見や観点を得るワークショップ。包括システムの解釈・理解を中心としながら、今までの研究や実践よりロールシャッハ法の活用に関する有用なものをいくつか紹介し、それらの観点を取り入れた症例理解を試みる。思考・感情のアセスメント、対象関係の理解、各種尺度、テストバッテリーの活用、などを紹介する予定である。

##### Cコース 「“読み手”に届くアセスメントレポート—病院臨床における報告書の書き方—」

講師：五十川早苗((財)松原病院)

榎村美智子(公立能登総合病院精神センター)

内容：このWSは、いつもアセスメントレポートを書きながら、本当にこれで良いのか、読み手にちゃんと伝わっているのか、と悩んでいる人に向けての企画です。コーディングや解釈ではなく、レポートの文章とはどうあるべきかに焦点を当てます。参加者には事前に送付する事例のレポートを書いてきてもらい、それをもとにグループで話し合います。自分のレポートを他の人と比べると、得難い機会になると思います。是非ご参加ください。なおこのワークショップの定員は40名とさせていただきます。

#### 5 大会参加・ワークショップ参加の申し込み

参加申込書を兼ねる同封の払込取扱票の通信欄に必要事項を記入の上、2012年4月27日(金)までに参加費等の諸費用を払い込んでください。ワークショップは先着順に受け付け、定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

なお、非会員の方の大会およびワークショップへの参加は、原則として、医療・福祉・司法・矯正、教育などの領域で守秘義務のある方、臨床心理学専攻の大学院生に限ります。

郵便払込口座 00700-8-76826

加入者名 JRSC 第18回大会実行委員会

- \* 同封の払込取扱票以外で振り込まれる場合は、郵便局備付の振込取扱票の通信欄に氏名と連絡先のほか、①参加区分（会員・非会員・院生）、②ワークショップの希望コース（第一希望と第二希望）、③懇親会参加の有無、④昼食の弁当の注文の有無（23日、24日）、⑤合計金額を追加して記入のうえお振込みください。

## 6 研究発表の申し込み

研究発表は大会第2日目、6月24日（日）9:30からです。研究発表には口頭発表とポスター発表があります。研究発表を希望される方は、2012年2月18日（土）必着で、①発表者氏名と所属、②発表者連絡先（住所、電話番号、ファックス、Eメールアドレス）、③演題、④口頭発表かポスター発表かの希望、⑤400字程度の発表要旨、⑥口頭発表の場合の使用機器の希望、の各項目を記入した文書を、大会事務局までお送りください。なるべくEメールでお願いします。会場にはプロジェクターと資料提示機を用意します。使用機器についての詳細なお問い合わせも受け付けます。

研究発表をお申し込みいただいた後、発表要旨に基づいて、本学会の発表として適しているかについて簡易な審査を行います。また「口頭発表・ポスター発表の希望」を記載していただきますが、変更をお願いする場合がありますので、ご承知おきください。

発表は、口頭発表の場合は25分（発表15分、質疑応答10分）、ポスター発表の場合は指定された時間にポスターを掲示し在席していただきます（発表申込数や発表の内容により多少変更することがあります）。

研究発表を申し込まれた方には、2012年4月10日（火）までに「大会プログラム・発表論文集」の原稿を提出していただきます。原稿の作成要領、書式、発表形式については大会事務局より追って連絡いたします。

## 7 発表資格

研究発表を希望される方は、2012年3月時点でJRSCの会員である必要があります。

## 8 諸費用

	予 約	当 日
大会参加費（学会員）	6,000円	7,000円
（非学会員）	7,000円	8,000円
（大学院生）	4,000円	5,000円
ワークショップ（学会員）	5,000円	—
（非学会員）	7,000円	—
（大学院生）	3,000円	—
懇親会参加費（学会員）	4,000円	5,000円
（非学会員）	4,000円	5,000円
（大学院生）	2,000円	3,000円
お弁当（23日・24日）	1,000円（一食）	—

\* 昼食について：23日（土）は学内の食堂が営業していますが、24日（日）は休業です。大学の近隣にはいくつかの食堂やコンビニエンスストアがありますが、十分とはいえませんので、あらかじめご自身で準備していただくか、お弁当の予約をお勧めします。

\* 諸費用の払込期限は2012年4月27日（金）厳守です。なお、納入いただいた諸費用の払い戻しはできませんので、あらかじめご了承ください。

\* 大学院生の方は、学生証を必ずお持ちください。受付で確認をさせていただきます。

## 9 研究発表申し込み先・大会に関する連絡先

〒921-8501

石川県野々市市扇が丘 7-1 金沢工業大学心理科学研究所

JRSC 第 18 回大会実行委員会事務局（事務局担当：大矢寿美子）

E-mail jrsc18@mlist.kanazawa-it.ac.jp

FAX 076-245-5014

## 10 今後の通信予定

研究発表を申し込まれた方には、2 月末をめどに E-mail で論文集の原稿の作成要領をお送りします。

大会プログラム・発表論文集の送付は、5 月末を予定しています。予約参加手続きをされた方には、大会参加章（ワークショップ受講証を兼ねる）を同封します。

**大会予約参加・WS 参加の方** → 2012 年 4 月 27 日（金）が申込および入金締切です。

**研究発表を希望される方** → 2012 年 2 月 18 日（土）までにお申しください。  
論文集原稿の締切は 2012 年 4 月 10 日（火）です。

## 11 臨床心理士研修ポイントについて

本大会への全日参加、ワークショップへの参加は、(財)日本臨床心理士会資格認定協会の研修ポイントになります。大会は口頭発表及びポスター発表が 4P、参加が 2P です。ワークショップは参加が 2P です。ワークショップの研修証明書は終了後に発行します。大会参加の証明につきましては領収書等をもって代えさせていただきます。いずれも再発行は致しかねますので、各自で保管をお願い申し上げます。

## 12 石川県へのアクセス

鉄道：東京→金沢 約 4 時間（新幹線利用・越後湯沢経由）

大阪→金沢 約 2 時間 30 分

名古屋→金沢 約 2 時間 30 分（新幹線利用・米原経由）

飛行機：札幌→小松 1 便/日 105 分 仙台→小松 1 便/日 65 分

羽田→小松 11 便/日 60 分 成田→小松 2 便/日 70 分

福岡→小松 2 便/日 70 分 那覇→小松 1 便/日 130 分

高速バス：仙台、東京、新宿、渋谷、横浜、新潟、富山、高岡、高山、名古屋、  
大阪、京都（北陸鉄道バス、西日本 JR バスなど）

\* 金沢駅、小松空港から会場へのアクセスについては、大会プログラムでお知らせしますが、金沢工業大学ホームページもご参照ください。

[http://www.kanazawa-it.ac.jp/about\\_kit/ogigaoka.html](http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html)

学会への入会、住所・所属変更などの連絡、問い合わせは  
下記の学会事務局へお願いします。

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-12-16-617

包括システムによる日本ロールシャッハ学会事務局

ファックス：03-5684-3670